



バリアレス縁石の特殊形状を 3D プリンターで形成

— 3D 形成技術の可能性を検証 —

2025.3.26

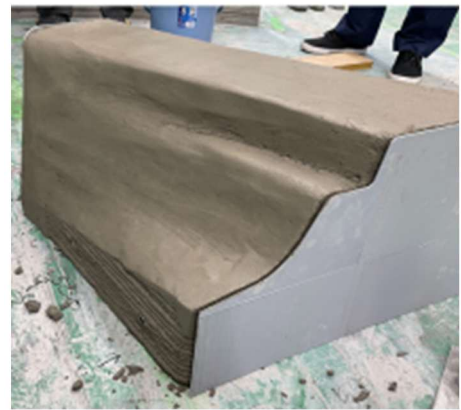
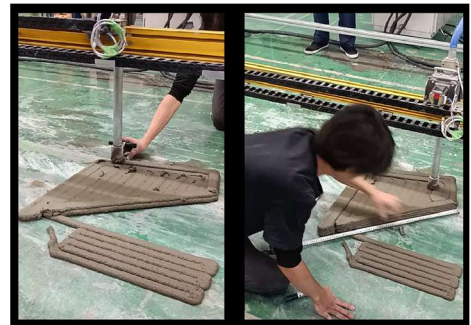
コンクリート 3D プリンターで、当社製品「バリアレス縁石 (plusstop)」の特殊形状部分を形成する実験を行いました。

バリアレス縁石の「擦り付け部分」は、道路や歩道の形状に合わせて一つひとつ寸法が異なるため、通常は現場ごとに対応する必要があります。

そこで、型枠を使わず自由な形状を形成できる 3D プリンターに着目。株式会社 Polyuse の協力のもと、同社の神奈川県藤沢市の開発拠点で形成実験を実施しました。

一方、3D プリンター特有の積層による凹凸が、製品の仕上がりにどのような影響を与えるかが課題となりました。

今回は、形成中にコテで表面を仕上げる方法も試し、3D 形成による特殊形状への対応可能性を検証しました。



上段：Polyuse Zero によるバリアレス縁石の特殊形状形成の様子 下段：形成時にコテ仕上げ